

製品名: FMIP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11043**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	78kDa

抗原情報

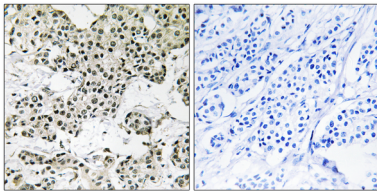
遺伝子名	THOC5 THOC5; C22orf19; KIAA0983; THO complex subunit 5 homolog; Functional spliceosome-associated protein 79; fSAP79; NF2/meningioma region protein pK1.3; Placental protein 39.2; PP39.2; hTREX90
別名	
遺伝子 ID	8563.0
SwissProt ID	Q13769
免疫原	抗血清はヒト THOC5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 561-610

背景

機能:顆粒球と脂肪細胞の分化に関与している可能性があります。、PTM:活性化 CSF1R に結合するとチロシンがリン酸化され、2つのタンパク質の解離を引き起こします。Ser-5 および/または Ser-6 のリン酸化は、核外輸送に必要です。インスリン刺激脂肪細胞では Thr-328 がリン酸化されます (類似性による)。おそらく ATM または ATR による DNA 損傷時にリン酸化されます。、類似性:THOC5 ファミリーに属します。、細胞内局在:核と細胞質の間をシャトルします。、サブユニット:リン酸化 CSF1R と相互作用します。、組織特異性:普遍的に発現しています。機能:顆粒球と脂肪細胞の分化に関与している可能性があります。、PTM:活性化 CSF1R に結合するとチロシンがリン酸化され、2つのタンパク質の解離を引き起こします。Ser-5 および/または Ser-6 のリン酸化は核外輸送に必要である。インスリン刺激を受けた脂肪細胞では Thr-328 がリン酸化される (類似性による)。DNA 損傷 (おそらく ATM または ATR による) によりリン酸化される。、類似性: THOC5 ファミリーに属する。、細胞内局在: 核と細胞質の間を往復する。、サブユニット: リン酸化 CSF1R と相互作用する。、組織特異性: 普遍的に発現する。、

研究分野

画像データ



THOC5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。